

V 日高振興局

1. 「匠」の技術伝承事業ゆら早生研修会を開催

9月5日、スマート農業実演会と合わせて、「匠の技 伝道師」に認定された塚本 亨氏の園地でゆら早生（温州みかん）研修会を開催し、日高地方4Hクラブ員、農業士、JA紀州果樹部会員等46名が参加した。

塚本氏は、「ゆら早生」の高度な整枝・せん定技術や植物成長調整剤を活用した高い技術を有し、高品質多収生産を実現している。

研修会では、樹齢の異なる「ゆら早生」の3園地を巡回し、栽培のポイント等を説明した。仕上げ摘果がほぼ終了した時点で開催したこともあって、着果状況がよくわかり、参加者は自身の園地との違いを実感していた。特に、着果が良好で樹勢もよく保たれていることに対して、感心する声が上がっていた。

今回は、来年2月頃、作業のポイントとなるせん定研修会を計画しており、若手農業者等へ匠の技術が伝承されるよう取り組んでいく。



集合する参加者（日高川町若野）



塚本氏による着果状況の説明

2. 令和4年度「農トレ！ひだか」～第2回セミナー開催～

9月7日、日高地方4Hクラブ連絡協議会（会長：岡 有輝氏）と農業水産振興課との共催により、管内の若手農業者や新規就農者等を対象とした研修会「農トレ！ひだか」第2回セミナーを開催した。日高地方4Hクラブ員他合わせて16名が参加した。

今回は、「雑草」をテーマとし、講師に農業試験場の松本主査研究員、三井化学アグロ（株）の沢田善宏氏、草生栽培実践農家の瀧本雅史氏を迎え、雑草の生態や除草剤についての講演、草生栽培及び自動灌水装置設置園地の見学を実施した。

まず、松本主査研究員からは、農業の長い歴史の中でその時々々の農業形態に適応した生態や生存戦略をもつ雑草の特性の説明があった。「今後さらに農業形態の変化があると思われるので増えていく雑草、減っていく雑草がある」とのことであった。

次に、沢田氏からは除草剤、種類別の使い分け、効果の出方、散布時のポイントにつ

いて説明があり、参加者からは除草剤の混用散布や散布後の土のpHの変化などについて質問があった。

最後に瀧本氏から日高川町の柑橘園地における草生栽培の状況や使用しているクラピア（イワダレソウ改良種）の特性、自動灌水装置について、現地で説明を行った。瀧本氏は「草生栽培の効果としては、草を草で抑えるという発想による除草効果、腐植の増加、土壌の流亡抑制があげられる」とメリットについて話した。

参加者からは「雑草について体系的に学べてよかった」や「草生栽培を実践してみたい」などという声があった。

今後も4Hクラブ連絡協議会と当課の共催により「農トレ！ひだか」を実施していく。



開会あいさつ（初山副部長）



雑草に関する講演（松本主査研究員）



除草に関する講演（沢田氏）



草生栽培に関する説明（瀧本氏）